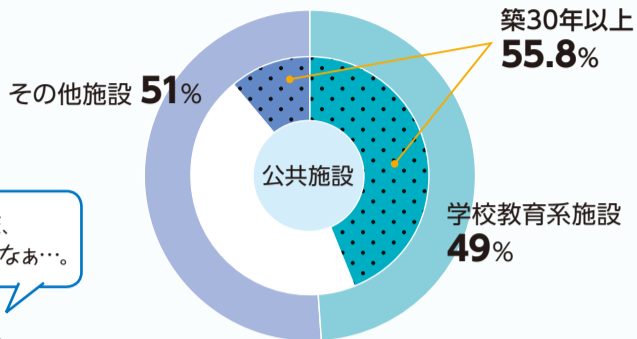


# 今、市が直面している課題を数字で表すと…

## 55.8%

築30年以上経過した公共施設の割合  
中でも学校教育系施設は9割が築30年以上経過。



私の学校、大丈夫かなあ…



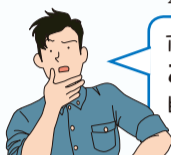
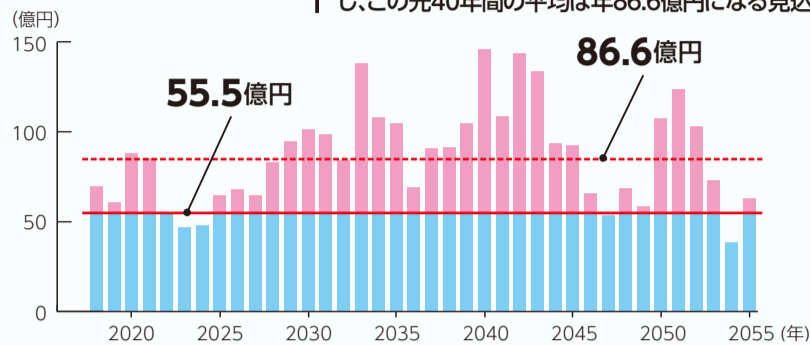
公共施設の半数が築30年以上となると、これからたくさん修繕や建て替えが必要になってくるよなあ。



## 86.6億円

1年間にかかる公共施設の建て替え・改修費用(予測)

公共施設の建て替えや改修にかかった費用は、2013年～2015年の3年間の平均で年55.5億円。しかし、この先40年間の平均は年86.6億円になる見込み。



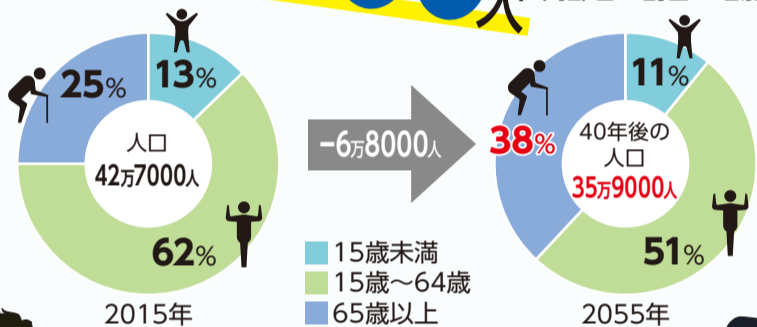
市の施設を利用したことはないけど、こんなに費用がかかっているなんて！自分の払う税金も使われていると思うと他人事じゃないな。

施設にこんなにお金がかかると、他のサービスに影響が出そう心配。



## -6万8000人

40年後の町田市の減少人口(推計)  
現在の人口の15%が減少。高齢者の割合は増加。



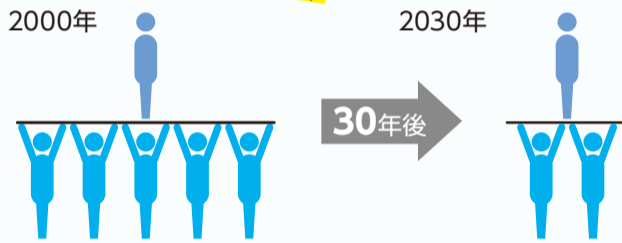
ええっ！15%も減るの!?

人口減少や少子高齢化は全国的な問題だけれど、町田市もこうなるのか…

## 5人 → 2人

高齢者1人を支える人数

2000年には、65歳以上の高齢者1人を15歳～64歳の5人で支えていましたが、2030年には2人になる見込み。



高齢者が増えれば、介護や医療などの社会保障費も増えるということだよな。子どもたちに負担を残したくないな。この子たちの未来のためにもよく考えないと。



データ出典：「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」 「町田市公共施設再編計画 検討資料」より

# 人にも財政にも優しい公共施設を目指して

これからの公共施設を考えるポイント

- ① 時代に対応した新たな価値
- ② 健全な財政運営



将来を見据えて、これからの公共施設を考えるにあたっては重要なポイントが2つあります。

- 1つ目は、価値観の多様化やニーズの変化に対応し、時代に合ったより良いサービスに変えていく必要があるということ、
- 2つ目は、厳しい財政状況においても、将来にわたって必要なサービスを維持するために、財政の健全化が不可欠であるということです。

この状況を踏まえ、2016年3月に「新たな価値の創出」と「経営的視点にたった管理運営」を目指す「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」を策定しました。

「新たな価値」って？よくわからないなあ。

例えば、今の市庁舎は分散していた分庁舎など15の施設のサービス機能を1か所にまとめたことで、施設や建物を減らし、費用の削減とワンストップサービスという「新たな価値」が生まれた一つの事例です。また、複数のサービスが一つの場所に集まり、さまざまな人が活動・交流することで、地域の活力や魅力という新たな価値の創出にもつながります。これは、「多用途・多目的・多世代」+「みんなの施設」という考え方です。

普段施設を利用しない僕たちでも、ちょっと立ち寄ってみたくなるような場所ができればわくわくするかも。

将来、子どもたちへの負担が少しでも減るなら、施設を減らしてみんなで使うのも悪くないと思うわ。

身近に世代を超えた出会いの場があると、毎日がもっと豊かになりそうだな。

## これからの公共施設のあり方についてご意見を募集します

基本計画に基づき施設の再編を実行していくための計画である「町田市公共施設再編計画」を2017年度に策定する予定です。策定にあたり、取り組みの方針や考え方についてみなさんのご意見を募集します。

- 記入内容：計画に対するご意見・性別・世代・お住まいの地区
- 提出様式：自由
- 提出方法：7月17日(祝)までに、企画政策課(市庁舎4階)、各市民センター、各駅前連絡所、各コミュニティセンター、各市立図書館、生涯学習センター、市民フォーラム3階窓口に直接持参(閉庁日を除く)、FAXまたはEメールで企画政策課(☎050・3085・3082 ✉mcity2980@city.machida.tokyo.jp)へ。

※ご意見募集に関する資料は町田市ホームページ、または上記提出場所でご覧いただけます。

みんなの未来はみんなで作っていきなさいね!

